

## 「シルバーしあわせの里」を見学して

このほど、男女共同参画市民会議は、通所介護サービスを先進的に取り組んでいる名古屋市の「シルバーしあわせの里」「しあわせの里天白」を見学しました。この施設は、平成8年に一人の女性が個人で民家を改築して無認可の宅老所を開設し、利用者の願いを尊重した介護支援に取り組んでいます。現在は、「大喜デイサービスセンター」も設置し、通所介護、配食サービス「しあわせキッチン」等を行っています。

施設のモットー **一人の人を大切に 人は人間の中で元気になる**



### 感想

- 20代のスタッフ達がいきいきと働いている姿に感動した。
- 施設は決して立派ではないが互いに思いやる真心にあふれていた。
- 熱意さえあればこのような宅老所づくりも可能だと思った。

## どうして“女”がつくの……？

この字、知ってますか？、読めますか？。

# 妖 婪 奸 妨 媮

※読み方は  
下の欄を  
ご覧下さい。

### 編集後記

日本中ますます強まる不況風。父親の帰宅時間は早まり、休みも増えて、家族団らんの時間が増えたとか。見方を変えれば、今こそ夫婦・親子の絆、社会のありよう、係わりなど考えてみる良い機会かもしれません。

男女共同参画市民協議会は、第2期の会員を募集しています。ご一緒に活動しませんか。



(豊田公民館にて)

### 主な内容

- 2面～3面 男女共同参画についての市民意識調査から
- 4面 「シルバーしあわせの里」を見学して

男女で担う生活サポート講座が、豊田公民館で開かれました。第1回は、奥原ます子さんの講話と介護のコツを実習。老いてきた兆候をお互いにチェックしあい、和気あいあいの学びの中で「若い」と上手につき合いながら、地域の中で支え合おうとの思いを高めることができました。

第2回は、松木裕子さんにより「食べやすい介護食」の講座と調理実習。老いて嘔吐ことの難しさや口腔衛生の大切さに気づかされ、濃いトロミ付けは危険など、のどごしの良い食事作りのコツを学ぶことができました。

「若い」の過ごしやすい生活づくりに男女が協力していこうとの気運がみなぎった講座でした。



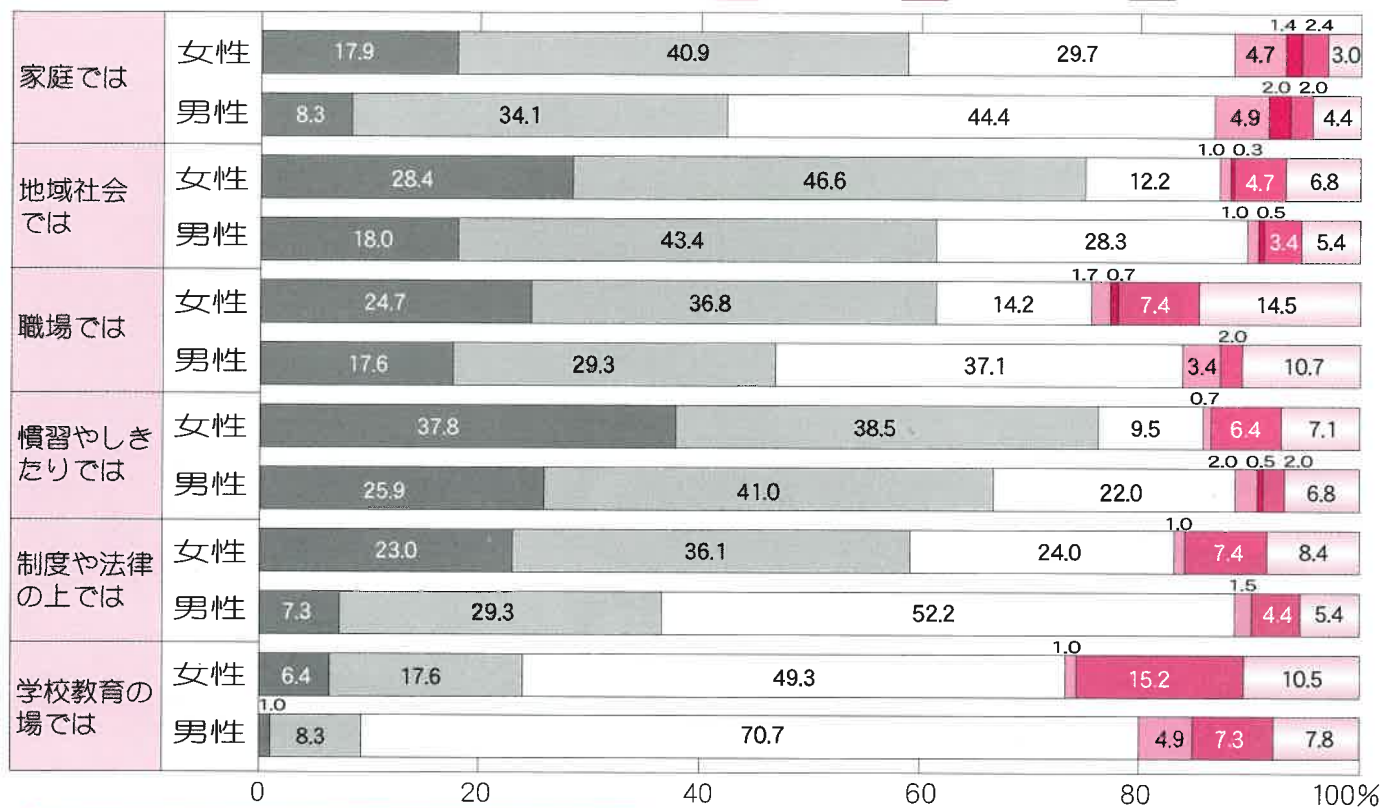
# 男女共同参画の市民意識調査から

市では、平成13年10月に、今後の男女共同参画施策を進める上での資料とするため、市内在住で20歳以上の男女1,000人（無作為抽出）にご協力いただき、「男女共同参画の市民意識調査」を行い、全体で50.1%の回答がありました。その中の主な結果をお知らせします。

## 学校では平等なのに 慣習・地域社会・職場では男性優遇

Q 男女の地位の平等について  
どのように思いますか。

■ 男性優遇 ■ どちらかといえば男性優遇  
□ 平等 ■ どちらかといえば女性優遇  
■ 女性優遇 ■ わからない □ 無回答



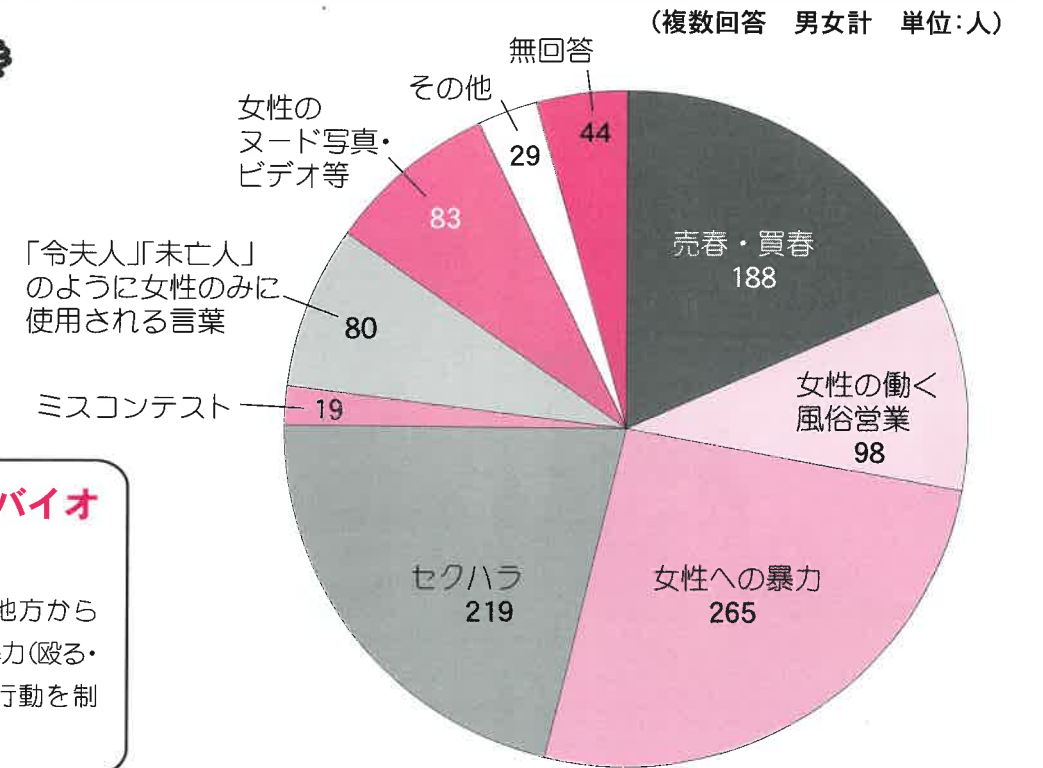
## 性別・年代による意識のちがい

■ 同感する ■ どちらかといえば同感する ■ どちらかといえば同感しない  
■ 同感しない ■ どちらともいえない □ 無回答



Q 「男は仕事、女は家庭」というような性別による役割の固定をどう思いますか。

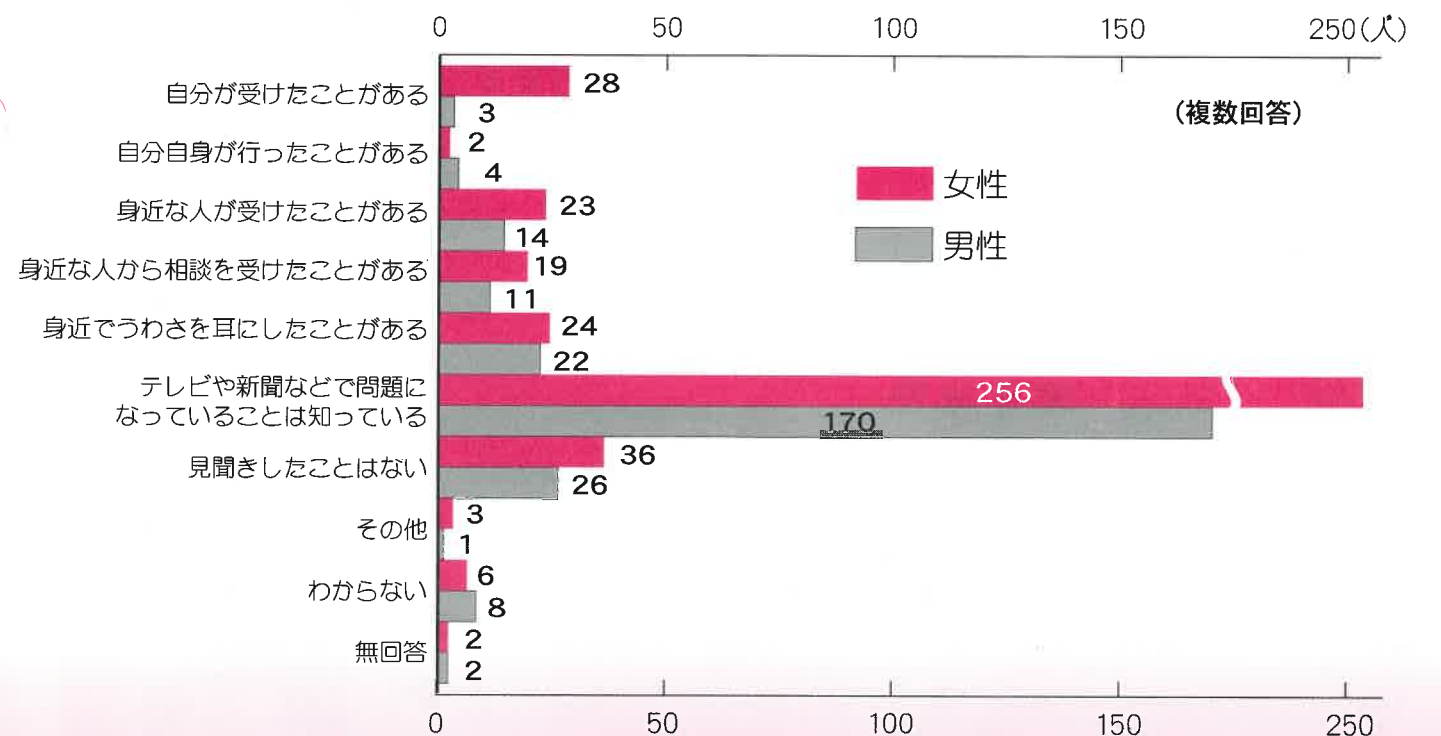
Q どのようなことに、女性の人権が尊重されていないと思いますか。



## ドメスティック・バイオレンス(DV)とは

夫婦や恋人の一方が他方から受ける身体的・心理的な暴力(殴る・ける・ひどく罵倒する・行動を制限する等)。

Q 最近、夫婦(恋人)間暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV)が問題となっていますが、こうした暴力について見聞きしたことがありますか。



女性も男性もお互いの性を尊重しましょう